

Title	The British Empire, By a Study Group of Members of The Royal Institute of International Affairs, 1937.
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.16, No.3 (1937. 11) ,p.168(496)- 169(497)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19371100-0170

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

多大なる盡力に對して深く敬意を表すると共に、進んでは斯くの如き著者の終始たゆまざる努力が一層輝かしく結實するの目を衷心より祈らずには居られない。(菊判本文七六七頁圖版三十六葉)(會田倉吉)

Historical Bibliographies (A System-

atic and Annotated Guide) by E. M.

Coulter and M. Gerstenfeld, 1935

史學の範圍が益々擴大し諸部門の研究が愈々細分するに至つて夥しく出版される史書の選擇は初學者はもちろん、専門家にとつても容易な業でなくなつて來た。隨つて之に對する指針を與へんとする編著も相當に出版されてゐる。中にも O. V. Langlois,

Manuel de bibliographie historique の如きは最も好評を博したものであるけれども一八九六年の初版ではもう今日の用を便しない。米國史學協會の書目編纂委員會が同國の圖書館協會と協力して編纂した A Guide to Historical Literature, edited by W.

H. Allison, S. B. Fay, A. H. Shearer and H. R. Shipman 1931の如きは最近に於ける最良著であつてこの程廉價版を出し大に便益を與へてゐるが、一般史を重んじ特殊問題に於て所々閑却せられた傾向がある。International Bibliography of Historical Science は年々刊行せられてゐるけれども初學者にとり便利であるとは言へない。その他の諸著何れも一長一短を有し一般向きなものが少ない。そこで使用上の便利といふ點に重きを置いて本書

が企てられ、一九二七年に刊行せられて好評を博した同名の書物はカリフォルニア大學圖書館學校の教授で又傑れた司書官であるクルター氏の著述であつたが、それにヨーロッパの大學で斯學に研鑽を積んだガーステンフェルド氏が參加してこの新著が生れたのである。繁簡宜しきを得たる本書は七百七十五種の書物を分類して簡明なる解題を附してある。勿論米國の學生を直指して編纂せられたものであるけれども、西洋史に關するこの方面に良著なき我が國の學生にとつても手頃な良著である。(間崎万里)

The British Empire

By a Study Group of Members of The Royal

Institute of International Affairs, 1937.

大英帝國植民地は大體自治領 (Self-Governing Dominions) と直轄植民地に別たれ、しかもその中間に位するものもあつて、全世界に散布せる是等植民地は、併合、占領その他種々の方法を以て獲得せられた關係上、それ々々個々別々の沿革、統治關係を有し、頗る複雑である。それに大戰中に於けるその發展と活動は俄然勢力を増加し、自治領それ々々が『ネーション』を形成し、戦後國際聯盟に獨立の單位として多くはその代表者を送り、英本國に對しても對等の地位を獲得するに至つたのである(一九三一年のウェストミンスター法)。本書は是等植民地の總括的研究を試み、第一篇に於て各邦の過去及び現狀を個別的に記述し、第二篇に於てその全組織、法的關係、第三篇に於て英帝國と對外關係、

國防、植民地、司法制度、經濟政策、人口、移民、國籍と市民權に關する最近八益しくなつた諸問題が取扱はれ、英帝國の全貌が明かにされてゐる。この國際事情研究會は一九二〇年に創設せられた非政治的團體であつて、國際問題の科學的研究の獎勵を目的とするものであつて、本書は斯道の専門家によつてなされたその報告であるから最も信頼し得る最新最良の記事である。之を本會によつて、同時刊行中の *Survey of British Commonwealth*, Vol. I. *Problems of Nationality*, by W. H. Hancock, 1937. と併續することによつて一層詳細なる知識が得られる。本會の刊行物は一九二〇—三年度分以後年々刊行せられてゐる *Survey of International Affairs* 及び *Documents of International Affairs* (一九二八年度分以後年々刊行)、兩者を合併せる「總目索引」(一九三〇年度分まで一冊)の外、當面の重要國際問題を個別的に取扱つたものが多いからこの方面の研究者には至便である。その中 *The Future of Monetary Policy*, 1935 の如き、町田義一郎氏の抄譯が財團法人金融研究會から刊行せられてゐる(非賣品なるも實費にて頒布する由)。(間崎万里)

寄贈交換圖書雜誌目錄

好仁親王行實、良仁親王行實、幸仁親王行實 高松宮家
 愛知縣史蹟名勝天然記念物調査報告、第十五 愛知縣
 昭和七年古蹟調査報告 第二冊 朝鮮總督府
 昭和九年度古蹟調査報告 第一冊 朝鮮總督府
 昭和十一年の國史學會 代々木會

周秦漢三代の古紐研究 上、下

國史通論 中村直勝

北海道史 第三、四卷

厚生 新編

鐔 三ノ七、六

文科 二ノ七、八、九、十

金雞學報 第三、四輯 特輯

大東文化 一六

龍谷史壇 二十

京城帝大史學會誌 十一

埼玉史談 八ノ六、九ノ一

明治大學史學會會報 四

國史と國體

下野史談 一四、五

筑紫史談 七一

歴史と生活 創刊號

イスラム 第一輯

東洋史會紀要 第二冊

文化 四ノ六、七、八、九、十

燕京大學園報 一〇五

史學消息 一ノ八

風俗研究 二〇六、二〇七、二〇八、二〇九

畫說 六、七、八、九、十

東方文化學院京都研究所

星野書店

北海道廳

貞松修藏

南人社

文科學會

金雞學院

大東文化學院

龍谷大學史學會

京城帝大史學會

埼玉郷土會

明治大學生徒史學會

明治大學史學會

下野史談會

筑紫史談會

慶應義塾經濟史學會

イスラム文化協會

東洋史會

東北帝國大學文科會

燕京大學圖書館

燕京大學圖書館

風俗研究所

東京美術研究所